

平成 29 年 9 月 29 日

新潟市水道事業管理者
水道局長 井浦 正弘 様

新潟市水道事業経営審議会
会 長 大川 秀雄

新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）の
事業・取り組みに関する 2 次評価について（報告）

平成 29 年 9 月 28 日に開催した, 平成 29 年度第 1 回新潟市水道事業経営審議会において,
新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）の平成 28 年度の事業・組み
みに関する 2 次評価について審議した結果, 下記のとおり決定しましたので報告します。

記

1. 2 次評価の結果・・・別紙のとおり

2次評価結果一覧表

施策	事業・取り組み	所管課	方向性	経営審議会総評
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	水質管理課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	水質管理課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-3 水質管理体制の強化	水質管理課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	水質管理課 (浄水課)	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	水質管理課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。今後、どれだけ市民の皆様様の理解を得ることができたか、成果を期待したい。また、浸透度や理解度についての評価手法等を検討すること。
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	管路課	維持	水道局自身の努力だけでは難しいことは理解できるが、学校施設の直結給水化は、新潟の水を市民に届け、当たり前に使ってもらうためにも、引き続き、計画に沿った事業推進のため努力してもらいたい。
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	管路課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	管路課	維持	表彰制度は業者の方々にとって励みになる良い制度であることから、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄配水施設の計画的更新	計画整備課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	III-2 管路施設の計画的更新	計画整備課	改善 見直し	管路の計画的更新は、耐震化や有収率向上対策につながる事業でもある。工事単価の上昇および市街地工事による事業費の増加により、管路事業全体の予算配分を見直し、配水支管更新の事業費の一部を、基幹管路更新へ充当したことは、限られた財源の中でやむを得ないと思われる。厳しい財政事情の中ではあるが、より効率性を追求し早期更新が可能となるよう努めること。
	III-3 鉛給水管の計画的更新	管路課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄配水施設の計画的耐震化	計画整備課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	計画整備課	改善 見直し	大規模地震発生に備え、耐震化の推進に努めること。工事単価の上昇および市街地工事による事業費の増加により、管路事業全体の予算配分を見直し、配水支管更新の事業費の一部を、基幹管路更新へ充当したことは、限られた財源の中でやむを得ないと思われる。厳しい財政事情の中ではあるが、より効率性を追求し早期更新が可能となるよう努めること。
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	計画整備課	維持	重要施設向け配水管の耐震化は、震災時のことを考えると重要な事業である。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
IV 震災対策・体制の強化	IV-4 配水管網のブロック化の推進	管路課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	管路課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	経営管理課	維持	他事業体や民間企業との災害時応援協定を積極的に締結している。また、今年度も応急給水訓練を定期的実施している。市民にとって災害に備えた水道局の姿勢が見え安心材料となる。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
V 経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	計画整備課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-2 定員・給与の適正化	総務課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。今後も委託に伴い職員数の減少が見込まれるが、危機管理の面から適正な定数にも留意すること。
	V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	営業課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-4 遊休資産の有効活用	経営管理課	改善 見直し	遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。今まで以上に売却も含めた施設の有効活用実施に向けた検討を進め、新たな収入源確保に努めること。

2次評価結果一覧表

施策	事業・取り組み	所管課	方向性	経営審議会総評
V 経営基盤の強化	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	経営管理課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	経営管理課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1 戦略的な広報の実施	総務課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。また、有効性評価欄へ市民からの意見、モニターの意見等判断の根拠を記載すること。
	VI-2 お客さまの意見・要望の把握	総務課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-3 分かりやすい経営情報の開示	経営管理課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	経営管理課	維持	放射性物質を含む浄水汚泥の情報は、市民の関心も高いと思われる。引き続き、適正な管理と情報提供を実施すること。
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	VII-1 人材育成と専門性の強化	総務課	維持	水道技術の継承が問題化する中、技術職の独自採用や民間企業経験者の採用と人材確保への努力は有効である。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VII-2 諸外国との水道技術研究交流	総務課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VIII 環境に配慮した事業運営	VIII-1 建設副産物の再利用促進	技術管理室	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VIII-2 水道局環境計画の策定と推進	経営管理課	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。